



速報第15号  
発行  
富山国際大学附属高校 新聞部  
富山市願海寺4-4-4  
E-mail:  
press@tuins-h.ed.jp

# 国際高の謎に迫る！

## 1年生の疑問 解決します

わが新聞部の新入部員の初仕事として、1年生がいま疑問に思っている国際高の「謎」について、練習を兼ねて先生方や先輩に取材した。新入部員なりに努力したので、温かい目でご覧ください。



熱心に質問をする新入部員

Q. 国際高はなぜSDGsに力を入れていくんですか？  
A. 県内の高校で唯一のユネスコスクールとして教育目標の一つに掲げ、あらゆる活動を通して今の社会や文化を未来に残す方法を考え、実践していける人材を育てるため。  
Q. フロンティアコースの名前の由来は？  
A. フロンティアとは、もともとアメリカ西部開拓の最前線となった辺境地帯のことです。やがて広い可能性を秘めた開拓の対象となる領域を指すようになった。2005年にできたこのコースは、多様な進路を自身でしっ

かり開拓してほしいという願いが込められている。  
Q. タブレット端末を導入している理由は？  
A. これから社会に出ても、このようなツールを使いこなすことはますます必須のスキルの一つになっている。そこを早くから着目したから。この前の休校時にもオンライン授業が早く実現できた。  
Q. 国際生の出身中学校トップ5は？  
A. 現在の全校生徒798人のうち、出身中学校の上位5校は①呉羽93人②速星71人③小杉41人④堀川40人⑤和合39人。ちなみに全体の男女比は3対5で、

女子が多い。  
Q. どうして教室はホワイトボードなんですか？  
A. 最初は黒板だったが、2016年、一斉にホワイトボード化。プロジェクターで投影するスクリーンとしても使用可能な低反射仕様のものが採用された。映した画像や映像の上にペンで書き込めるのがポイント。教室のどこからでも見やすくなっている。  
Q. 国際高の魅力はなんだと思いますか？（先輩に取材）  
A. iPadを活用した授業を受けられたり、気さくな先生が多く分らないところをすぐに質問できるところ。グローバルで様々な国の生徒がいるところ。SDGsに力を入れているところ、などの意見が挙がった。  
【夏梅望早、橋本結、出村七望、森井波琉、永山青空】